

平成30年度第1回総務小委員会 議 事 録

1. 開催日時 平成30年12月25日（火）午後3時～午後4時10分
2. 開催場所 東京都トラック総合会館 6階中会議室
3. 議 長 青柳保之委員長
4. 出席者 青柳保之委員長 鈴木隆志副委員長 高取言彦副委員長 水野功総務委員会委員長
田中敏之委員 松原伸行委員 田中秀樹委員 大島弥一委員
八武崎秀紀委員 鈴木貢委員 竹内政司委員
事務局：山崎専務理事 遠藤常務理事 西澤常務理事 加藤常務理事 並木常務理事
神戸部長 井上総務部次長 福田総務課係長
5. 審議事項 (1) 会長選挙に関する取り扱いについて
(2) 支部の内部化に伴う検討事項及び優先順位などについて
(3) その他
6. 決定事項

- 「会長候補者の選出に関する規程」の位置づけと会長の選出方法について検討した。
- 支部のブロック制導入に伴う課題を抽出した。
- 第2回総務小委員会を平成31年2月7日（木）午後3時から開催する（午後4時30分閉会予定）。

（主な意見）

- 会長選挙に関する取り扱いについて
 - ・会長は話し合いで選出した方がよい。仲間同士での選挙は協会にとってマイナスとなる。
 - ・会長選挙後に生じる空白期間は、協会運営に大きな支障をきたす。
 - ・現行の「会長候補者の選出に関する規程」を基に、まずは話し合いで会長を決めるための機関を設けた上で、話し合いで結論が出なかった場合は選挙を行う、という手続を構築すべき。
 - ・会長が1期2年ごとに選挙で変わるの、協会にとっても対外的にも好ましくない。協会事業を円滑に進めるためには、最低でも2期4年程度の任期が必要である。
- 支部の内部化に伴う検討事項及び優先順位などについて
 - ・会員サービスの均一化のためには、支部を統合してブロック制にするのが望ましいが、協同組合の取扱いや事務職員の待遇面の調整が難しい。
 - ・規模が小さくて運営に苦慮している支部も、他支部との統合となると難色を示すのではないか。
 - ・各支部が抱える課題を把握した上で、支部間でどのような格差が生じているのかを明確にし、共通認識を持つべきである。
 - ・各支部が会員に提供すべき「同一サービス」の内容を明らかにしておく必要がある。

7. 今後検討すべき事項

- ・各支部が行っている事業についての調査（アンケートの実施等）

8. 報告事項

なし